



# 平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 ルーデン・ホールディングス(株)  
 コード番号 1400 URL <http://www.ruden.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 西岡 孝  
 (氏名) 佐々木 悟  
 TEL 03-6455-2938

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	1,755	37.5	60	—	69	—	49	—
29年12月期第2四半期	1,276	17.2	△7	—	△7	—	△23	—

(注)包括利益 30年12月期第2四半期 49百万円 (—%) 29年12月期第2四半期 △23百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	4.40	3.68
29年12月期第2四半期	△2.37	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第2四半期	3,227	2,783	76.3
29年12月期	2,408	2,033	71.7

(参考)自己資本 30年12月期第2四半期 2,463百万円 29年12月期 1,727百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年12月期	—	0.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,218	36.7	292	—	299	—	253	—	21.51

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成30年8月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期2Q	12,202,400 株	29年12月期	10,361,300 株
② 期末自己株式数	30年12月期2Q	200 株	29年12月期	200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期2Q	11,371,440 株	29年12月期2Q	10,056,459 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益及び雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が継続したものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方、当社グループの既存事業と密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場におきましては、平成30年の年間供給が3.8万戸（前年比4.4%増）と予想されておりましたが、当第2四半期連結累計期間においては供給戸数が前年同期比5.3%増したものの、契約率においては0.6ポイント減（いずれも民間調査機関調べ）と引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、マンションデベロッパー及び管理会社との取引関係のさらなる強化及び新規法人開拓の強化に注力してまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高1,755百万円（前年同期比37.5%増）、営業利益60百万円（前年同四半期は営業損失7百万円）、経常利益69百万円（前年同四半期は経常損失7百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益49百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失23百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①ハウスクエア事業

ハウスクエア事業に関しましては、密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場が厳しい状況で推移しましたが、マンションデベロッパー及び管理会社との取引関係のさらなる強化及び新規法人開拓の強化に注力し、中古マンション市場及び代理店事業が結果を出し、売上においては、順調に推移いたしました。外注費や販売促進費の増加により、利益面においては、厳しい状況で推移いたしました。

以上により、当第2四半期連結累計期間におけるハウスクエア事業の業績は、売上高507百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益78百万円（同24.7%減）となりました。

#### ②ビル総合管理事業

ビル総合管理事業に関しましては、新規取引先の獲得等で、売上は順調でしたが、求人募集費や現場人件費の増額等で利益に関しては、厳しい状況で推移いたしました。

以上により、当第2四半期連結累計期間におけるビル総合管理事業の業績は、売上高681百万円（同2.4%増）、営業利益18百万円（同50.7%減）となりました。

#### ③総合不動産事業

総合不動産事業に関しましては、6物件の販売をすることができ、売上・利益ともに予想以上の状況で推移いたしました。

以上により、当第2四半期連結累計期間における総合不動産事業の業績は、売上高558百万円（同360.3%増）、営業利益133百万円（前年同四半期は営業損失11百万円）となりました。

#### ④その他

その他に関しましては、本格的な販売には至っておらず、また、研究開発費用も計上したため、非常に厳しい状況で推移いたしました。

以上により、当第2四半期連結累計期間におけるその他の業績は、売上高9百万円（同370.0%増）、営業損失37百万円（前年同四半期は営業損失1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,930百万円となり、前連結会計年度末に比べ832百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が104百万円、商品及び製品が115百万円、販売用不動産が977百万円増加したことなどによる一方、仕掛販売用不動産が138百万円、短期貸付金が214百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は297百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円減少いたしました。これは主にのれんが5百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は3,227百万円となり、前連結会計年度末に比べ819百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は326百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円増加いたしました。これは主に未払金が33百万円、未払法人税等が26百万円増加したことなどによるものであります。固定負債は117百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少いたしました。これは主にその他が2百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総負債は444百万円となり、前連結会計年度末に比べ69百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,783百万円となり、前連結会計年度末に比べ749百万円増加いたしました。これは主に資本金が342百万円、資本剰余金が342百万円、新株予約権が14百万円増加したこと及び親会社株主に帰属する四半期純利益49百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は76.3% (前連結会計年度末は71.7%) となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ103百万円の増加となり、当第2四半期連結累計期間の資金残高は、832百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は795百万円(前年同四半期は2百万円の獲得)となりました。これは主に販売用不動産の増加などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は213百万円(前年同四半期比199.8%増)となりました。これは主に貸付金の回収による収入などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は686百万円(前年同四半期比1,478.9%増)となりました。これは主に株式の発行による収入などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日(平成30年8月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	730,211	835,097
受取手形及び売掛金	241,189	252,889
商品及び製品	350	116,300
販売用不動産	295,986	1,273,691
仕掛販売用不動産	178,369	40,021
仕掛品	1,517	1,577
原材料及び貯蔵品	7,899	8,051
前渡金	94,000	—
短期貸付金	461,796	247,000
未収入金	22,350	50,902
未収還付法人税等	9,900	—
繰延税金資産	24,030	26,805
その他	30,449	77,903
流動資産合計	2,098,050	2,930,240
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	143,231	136,073
減価償却累計額及び減損損失累計額	△82,606	△83,267
建物及び構築物(純額)	60,624	52,805
機械装置及び運搬具	3,428	3,428
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,854	△2,912
機械装置及び運搬具(純額)	573	516
工具、器具及び備品	7,460	28,360
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,530	△10,149
工具、器具及び備品(純額)	930	18,210
土地	28,296	37,543
リース資産	3,700	3,700
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,898	△3,268
リース資産(純額)	801	431
建設仮勘定	22,572	—
有形固定資産合計	113,799	109,508
<b>無形固定資産</b>		
のれん	95,748	90,664
その他	10,403	10,403
無形固定資産合計	106,152	101,068
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	4,026	3,476
出資金	551	581
破産更生債権等	622,127	626,780
損害賠償請求権	70,057	70,057
その他	85,927	82,648
貸倒引当金	△692,185	△696,838
投資その他の資産合計	90,504	86,705
固定資産合計	310,456	297,281
資産合計	2,408,507	3,227,522

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,217	61,776
未払金	124,121	157,273
未払法人税等	9,003	35,709
預り金	38,420	42,192
売上値引引当金	393	455
アフターコスト引当金	1,323	1,256
その他	34,451	27,914
流動負債合計	254,930	326,577
固定負債		
長期借入金	109,127	109,127
退職給付に係る負債	8,078	8,642
その他	2,901	—
固定負債合計	120,107	117,770
負債合計	375,038	444,348
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,809,186	2,151,940
資本剰余金	341,539	684,292
利益剰余金	△423,444	△373,454
自己株式	△290	△290
株主資本合計	1,726,991	2,462,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	963	598
その他の包括利益累計額合計	963	598
新株予約権	305,514	320,088
純資産合計	2,033,468	2,783,174
負債純資産合計	2,408,507	3,227,522

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	1,276,979	1,755,942
売上原価	792,196	1,175,817
売上総利益	484,782	580,124
販売費及び一般管理費	492,313	519,252
営業利益又は営業損失(△)	△7,531	60,872
営業外収益		
受取利息	7,156	8,055
受取配当金	27	58
その他	337	3,360
営業外収益合計	7,521	11,474
営業外費用		
支払利息	22	10
控除対象外消費税	7,568	2,737
その他	137	424
営業外費用合計	7,728	3,172
経常利益又は経常損失(△)	△7,737	69,174
特別損失		
関係会社株式売却損	26,666	—
特別損失合計	26,666	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△34,404	69,174
法人税、住民税及び事業税	8,187	26,467
法人税等調整額	△18,737	△7,283
法人税等合計	△10,549	19,184
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23,855	49,989
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△23,855	49,989

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23,855	49,989
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	385	△365
その他の包括利益合計	385	△365
四半期包括利益	△23,469	49,624
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△23,469	49,624

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△34,404	69,174
減価償却費	1,739	5,026
のれん償却額	2,033	5,083
関係会社株式売却損益(△は益)	26,666	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	223	4,652
賞与引当金の増減額(△は減少)	9	—
売上値引等引当金の増減額(△は減少)	142	62
アフターコスト引当金の増減額(△は減少)	42	△66
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,406	563
株式報酬費用	60,783	13,636
受取利息及び受取配当金	△7,183	△8,114
支払利息	22	10
売上債権の増減額(△は増加)	50,242	△11,699
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△271	△4,652
たな卸資産の増減額(△は増加)	179	△116,161
販売用不動産の増減額(△は増加)	9,274	△977,705
仕掛販売用不動産の増減額(△は増加)	△42,605	138,347
前渡金の増減額(△は増加)	△30,000	94,000
前払費用の増減額(△は増加)	△5,517	△33,980
未収入金の増減額(△は増加)	13,067	△11,868
預け金の増減額(△は増加)	—	△20,000
仕入債務の増減額(△は減少)	△17,082	14,558
未払金の増減額(△は減少)	△3,631	39,204
未払消費税等の増減額(△は減少)	11,059	△5,259
預り金の増減額(△は減少)	△11,928	3,858
その他	△6,542	7,079
小計	17,726	△794,249
利息及び配当金の受取額	34	1,330
利息の支払額	△22	△10
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△15,633	△2,837
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,105	△795,767
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,200	△1,200
定期預金の払戻による収入	7,200	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△2,941	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△6,432	—
敷金及び保証金の差入による支出	△1,195	△1,640
敷金及び保証金の回収による収入	1,510	1,492
貸付けによる支出	△2,500	—
貸付金の回収による収入	77,000	214,796
その他	△397	△439
投資活動によるキャッシュ・フロー	71,044	213,008
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	33,875	—
株式の発行による収入	—	374,107
新株予約権の行使による株式の発行による収入	9,600	307,100
新株予約権の発行による収入	—	5,237
財務活動によるキャッシュ・フロー	43,475	686,444
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	116,625	103,685
現金及び現金同等物の期首残高	716,876	728,411
現金及び現金同等物の四半期末残高	833,502	832,097

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年1月26日付で、チャイナトラベル1号有限責任事業組合から第三者割当増資の払込みを受けました。また、平成30年1月26日付で、チャイナトラベル2号有限責任事業組合に発行した新株予約権の一部行使がありました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が342,753千円、資本準備金が342,753千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,151,940千円、資本準備金が684,292千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ハウスケ ア事業	ビル総合 管理事業	総合不動 産事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	488,209	665,486	121,283	1,274,979	2,000	1,276,979	—	1,276,979
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	488,209	665,486	121,283	1,274,979	2,000	1,276,979	—	1,276,979
セグメント利益 又は損失(△)	103,922	37,516	△11,725	129,713	△1,209	128,504	△136,035	△7,531

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△136,035千円には、のれん償却額△2,033千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△134,002千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ハウスケ ア事業	ビル総合 管理事業	総合不動 産事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	507,129	681,131	558,281	1,746,542	9,400	1,755,942	—	1,755,942
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	507,129	681,131	558,281	1,746,542	9,400	1,755,942	—	1,755,942
セグメント利益	78,243	18,508	133,724	230,475	△37,647	192,828	△131,956	60,872

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△131,956千円には、のれん償却額△5,083千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△126,872千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。